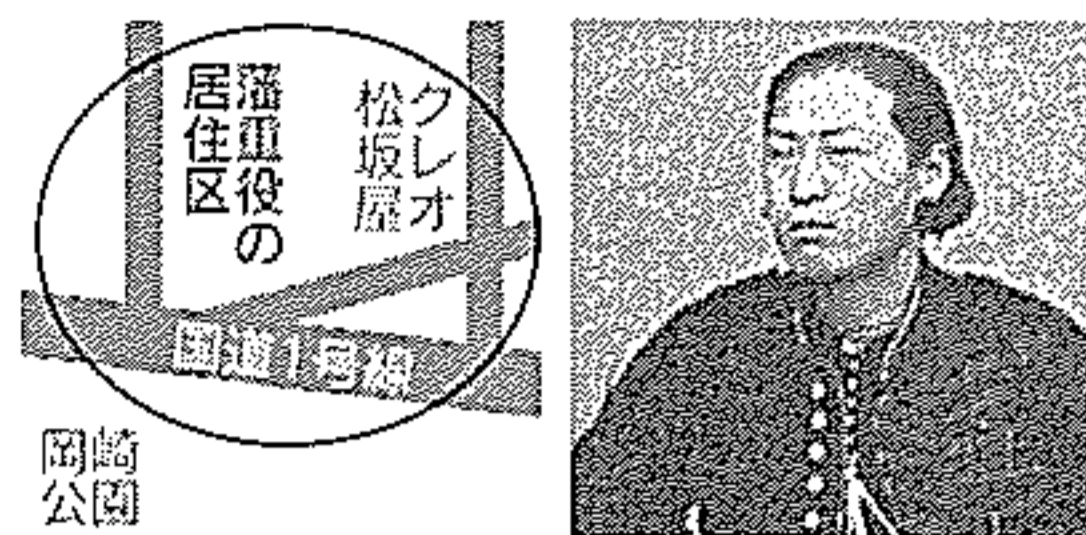


康生いったい

長尾錬次郎と坂本龍馬

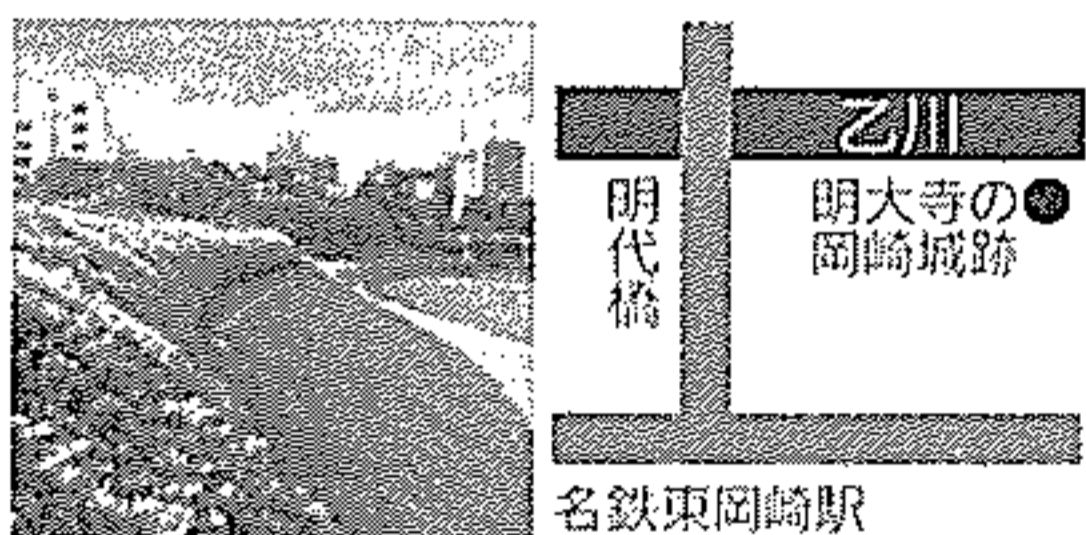


幕末の岡崎藩で西洋流砲術の指南役長を務めた長尾錬次郎(ながおれんじろう)は康生の生まれ。若い頃、江戸で神道無念流の剣術を学び、その時の稽古仲間が坂本龍馬でした。仲の良かった2人は、修行を終えて帰郷する時もいつしよ。もう2人を加えた仲間4人は、目的を達成した気楽さから、楽しい旅をしました。明治維新後は、諸藩の兵を集めた天竺の砲術練で隊長に抜擢されました。

■生誕地は康生通西あたりか？

東岡崎駅周辺

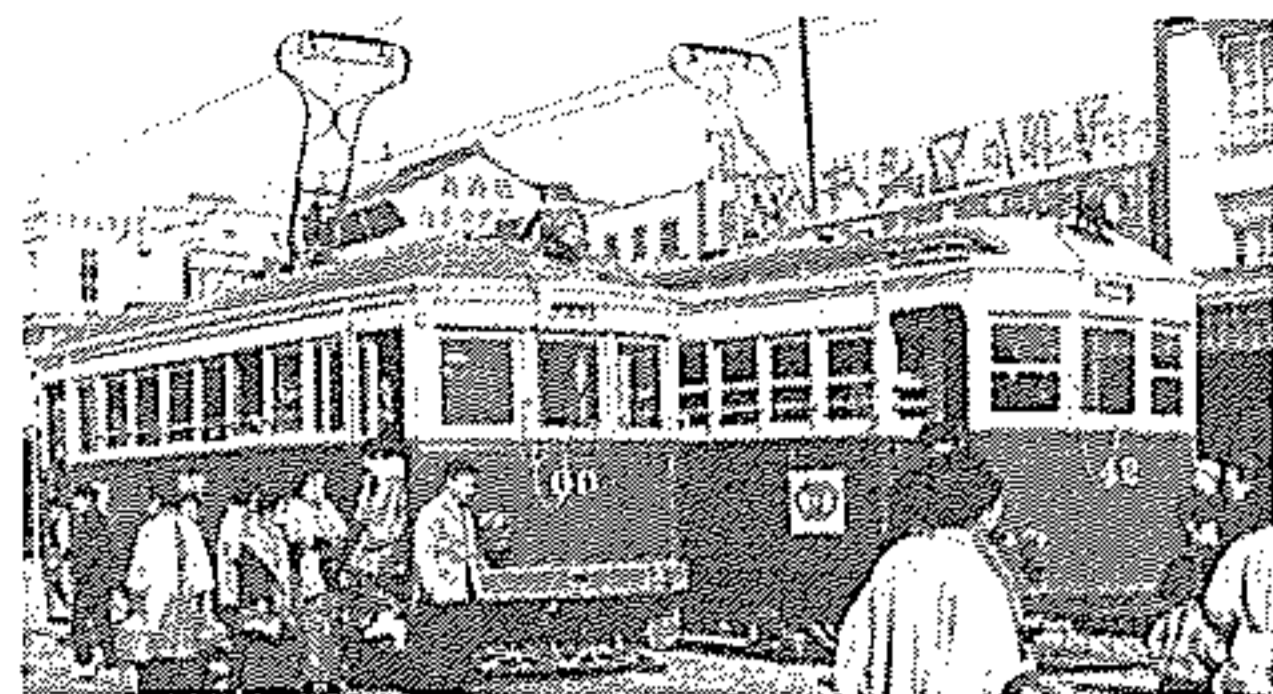
明大寺の岡崎城



岡崎城というと岡崎公園にある天守閣が思い浮かびますが、享禄3年(1530)より以前の岡崎城は、上明大寺町の市営東岡崎駐車場のあたりにありました。徳川家康公の祖父の松平清康が軍事的な見地から、対岸にあった砦に本拠地を移し、岡崎城という名称も現在地となりました。この時代の城は優美な江戸時代の城とは異なり、屋敷の周囲を堀や土塁で固めた大型の砦でした。

■岡崎市上明大寺町2

康生通の岡崎市電(3)



市電の軌道は康生町からJR岡崎駅までが複線、その他の区間は単線でした。そのため、康生町で上り下りの市電がすれ違いました。写真は昭和37年(1962)に撮影されたもの。和服姿の女性が目立ちます。

※写真は路面電車と街並み 岐阜・岡崎・豊橋より

純情きらりのお巡りさん



NHK朝の連続テレビ小説「純情きらり」で、お巡りさんの役を好演するのは、岡崎出身の俳優・楠見彰太郎(くすみしょうたろう)さん。岡崎明大寺商店街の元代表理事・原乙吉さんのご子息です。写真は家康行列でのスナップ。楠見さんの三河弁をまた聞きたいですね。

■発行

電車どおり4商店街

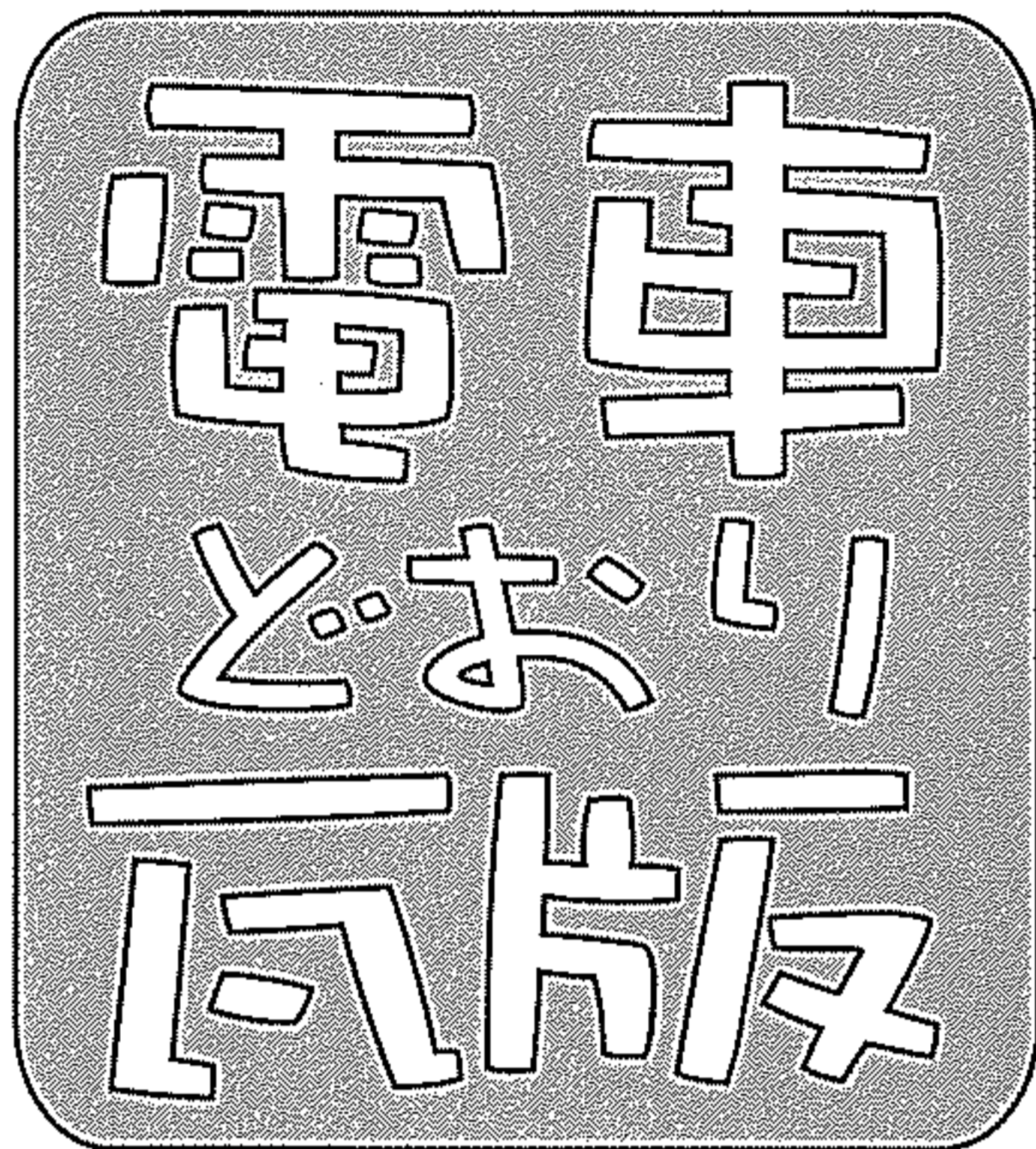
- 本町通三丁目商店街振興組合
- 岡崎銀座商店街振興組合
- 殿橋通発展会
- 岡崎明大寺商店街振興組合

■協力

岡崎商工会議所
岡崎市観光協会

■編集協力

三河・岡崎のタウン誌「リバーシブル」
岡崎江戸仲間



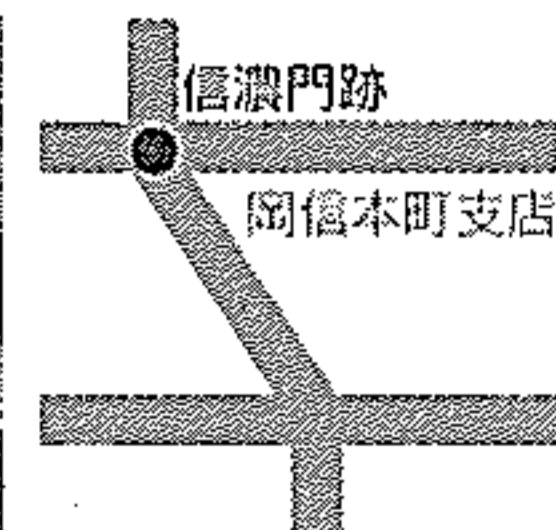
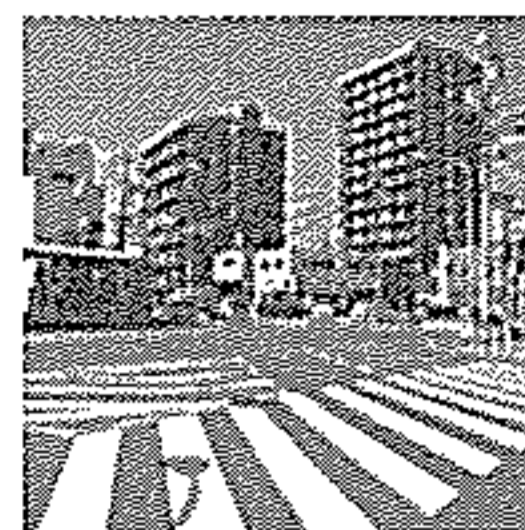
2006年(平成18年)7月・8月(第6号)

電車どおりの住民が
ご近所のネットワークを活かし
まち歩きを楽しくする
オススメのポイントをご紹介します。



本町がいわい

信濃門跡

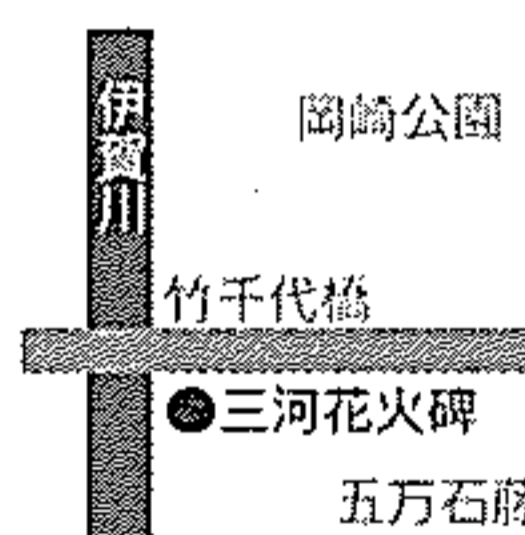


江戸時代の人々は旅行好きでした。街道は整備され、治安も安定していたので、「名所図絵」や「分間絵図」など、数多くの旅行案内書が出版され、お寺参りを口実にした物見遊山の旅が流行しました。「能見通一南」の交差点にあった「信濃門」を出て、北に向かう道は「ぜんこうじ道」とよばれ、遠く信濃の善光寺まで通じる道でした。また、信州産のタバコの葉を三河へもたらす道でもありました。

■能見通一南交差点

殿橋のたもと

三河花火発祥の地記念碑



8月5日(土)に開催の、岡崎の夏を彩る「岡崎観光夏まつり花火大会」は今年で58回目。江戸時代にはじまる菅生神社の祭礼が起源の由緒正しきもの。神社前に設けられる木組みの棧敷は江戸情緒たっぷり。菅生川(乙川)の川面にきらめく岡崎名物の金魚花火は必見です。稲富流砲術から生まれた稲富流煙火術が岡崎の花火。戦国時代の砲術が平和利用され、火の芸術になりました。

■竹千代橋の南東詰